

水ビジネスの国際戦略拠点が本格的運用を開始！
～ 日明浄化センター新管理棟(ビジターセンター)竣工 ～

- 上下水道局はこの度、かねてより整備を進めてきた「水ビジネスの国際戦略拠点」が完成し運用を開始します。今後は、隣接する「ウォータープラザ」「下水汚泥燃料化施設」などの施設と併せて一体的に運用し、更なる利用促進を図ります。
- 今回、老朽化が進んだ日明浄化センター管理棟の耐震性能向上に併せ、下水道に関する展示や地元企業の技術・製品の展示などのフロアを新たに設けており、研修や環境教育、海外水ビジネスの推進などに積極的に活用する計画です。
- なお、日明浄化センター新管理棟(ビジターセンター)の竣工を記念し、4月23日(木) 11時から完成式典を執り行います。

<これまでの経緯>

- 平成22年 8月 北九州市海外水ビジネス推進協議会を設立
- 平成23年 6月 北橋市長が国交省副大臣に対し、水ビジネスの国際戦略拠点整備を提案
- 平成24年 4月 国交省の「国際展開の先進自治体」に認定され、WES Hubの第1号に登録
- 平成26年 1月 起工式
- 平成27年 4月 完成式

<新管理棟(ビジターセンター)概要>

- ・構造等 : 鉄筋コンクリート造 3階建(延べ床面積 2,900㎡)
- ・フロア構成 : 1階 水質試験室
2階 ホール、プレゼンルーム、ミュージアムエリア、事務室
3階 技術・製品展示コーナー、会議室
- ・全体事業費 : 約12億円

<主な効果>

○ビジネスチャンス・国際貢献の拡大

技術・ノウハウ、最新情報等の集積と人の往来がより一層加速し、地元企業のビジネスチャンスや国際貢献の機会が拡大する。

○集客に伴う地元産業の振興、活性化

国際セミナーの誘致、市内の環境関連施設や観光スポットとの連携など、国内外からの幅広い集客により、観光産業をはじめとした地元産業の振興、経済波及に繋がる。

○市民の快適・安全な暮らしの確保

日常の下水処理のコントロールセンターである管理棟の耐震性能が向上し、市民の快適な生活、業務や視察等での来場の際の安全を確保できる。

○下水道の啓発と環境教育

次世代を担う子ども達をはじめ、市民に下水道を通じた環境学習の場を提供できる。

<ビジターセンター完成式典>

- 日時 : 平成27年4月23日(木) 11:00～12:00
- 場所 : 日明浄化センター内(北九州市小倉北区西港町96-3)
- 出席者 : 北九州市長、北九州市議会、国土交通省、施工業者 ほか
- 次第 : 市長挨拶、来賓挨拶、セレモニー

※午後には、ビジターセンターの開館を記念して記念講演会を開催します。

(お問合せ) 施設の建替に関して: 下水道部施設課(582-2485) 岡島、中島
海外水ビジネスに関して: 海外・広域事業部海外事業課(582-2012) 松本、神野

日明浄化センター新管理棟（ビジターセンター）
完成式典および記念講演会について

<概要>

日 時：平成27年4月23日（木）

会 場：日明浄化センター内（北九州市小倉北区西港町96-3）

行 程：完成式典 11時00分～12時00分（10時30分受付開始）

記念講演会 13時30分～15時30分（13時00分受付開始）

<完成式典>

11:00 式典開始（本館前にテント設営）

主催者挨拶 北九州市長

来賓祝辞 国土交通省下水道部長、市議会議長

来賓紹介

11:30 テープカット（本館入口付近）

11:40 館内見学

12:00 式典終了

<記念講演会>

（テーマ：“北九州から世界へ繋ぐ海外水ビジネス”～水ビジネスの国際戦略拠点の活用に向けて～）

13:30 開 会

13:30 主催者あいさつ（上下水道局）

13:35 記念講演①

（30分） 下水道分野における海外ビジネス展開に関する取組について

（国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 流域管理官 加藤裕之）

14:05 記念講演②

（40分） 巨大市場海外水ビジネスの動向と課題

（グローバルウォータージャパン代表 吉村和就）

14:45 記念講演③

（15分×3社） 我が社の海外事業水ビジネスの取組み

- ・水ing株式会社
- ・株式会社日立製作所
- ・メタウォーター株式会社

15:30 閉 会

水ビジネスの国際戦略拠点 ～先進技術のショーケース～



環境未来都市 北九州市

< 北九州市 日明浄化センター >

① ビジターセンター

(H27. 4 供用開始)



3階建て 2,900m²

- 1F 水質試験室
- 2F プレゼンルーム
ミュージアムエリア
事務室
- 3F 技術・製品展示コーナー
会議室



<国際研修の実施>



<技術・製品の展示>



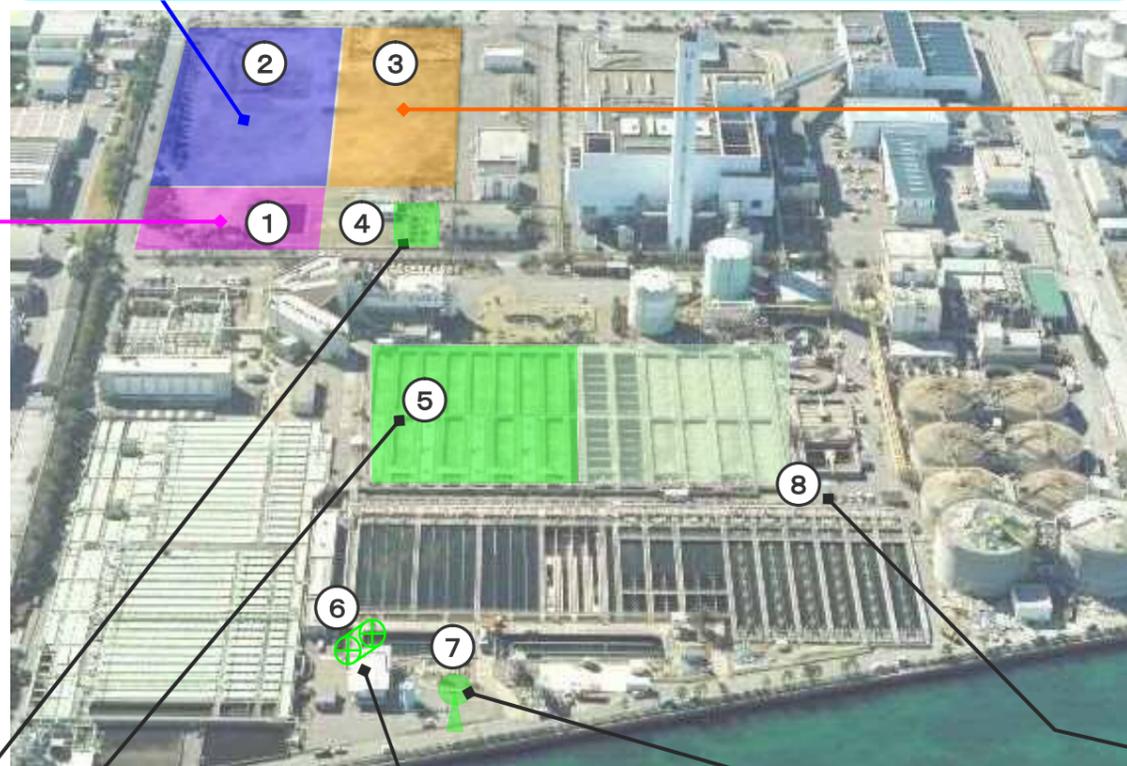
<先端技術の開発>



<ビジネスマッチング>

② ウォーターフラザ

- ◇海淡と下水の膜処理を組み合わせた先進の造水システム
- ◇官民一体で、海外での事業化に向け実証研究



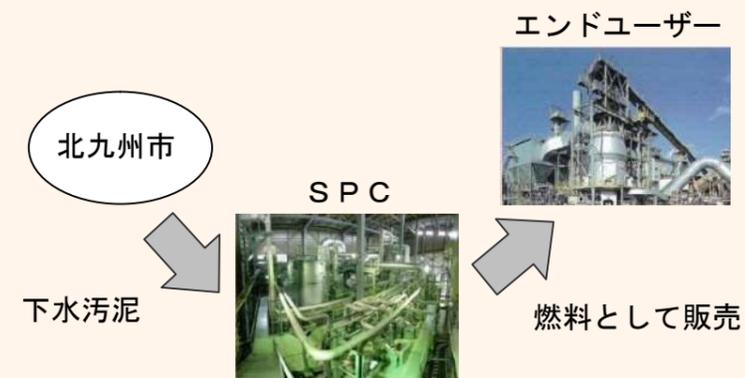
③ 汚泥燃料化 (H27. 10 供用開始)



石炭代替燃料として活用

- ・能力：70t/dの下水汚泥を約20tの燃料に生成
- ・用途：火力発電／セメント工場の熱源

※生成から消費まで、市内で完結



事業全体でのCO₂削減量 11,300ton

④ バイオガス発電



年間発電量 1,106千kwh
CO₂削減量 426ton

⑤ 太陽光発電



年間発電量 252千kwh
CO₂削減量 97ton

⑥ 小水力発電



年間発電量 8千kwh
CO₂削減量 3ton

⑦ 小風力発電



年間発電量 6千kwh
CO₂削減量 2ton

⑧ LED照明



年間削減電力量 147千kwh
CO₂削減量 56ton

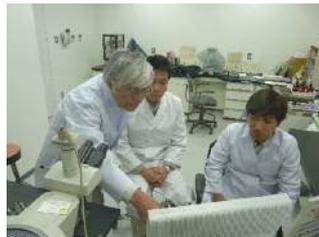
新管理棟（ビジターセンター） フロア構成

1 F 人材育成フロア

<水のエキスパートの育成拠点>

ノウハウを
“伝える”

- 実施設を活用した国際研修
- 自治体ノウハウを伝授
- 若手技術者への技術講習



2 F 環境学習・産業観光フロア

<環境未来都市とのふれあい拠点>

水や緑を“感じる”
まちのたからで“魅せる”

- 次世代を担うエコ人材を養成
- 水の大切さを教える
- 北九州市の魅力を発信



3 F 水ビジネスフロア

<先進の水・環境技術の国際展開>

海外へ“広げる”
世界と“繋がる”
先進技術を“極める”

- 先進技術のショーケース
- ビジネスマッチング
- 最新情報・研究成果の発信、交流

